

デザイナーサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.10作成

大項目	番号	評価項目	項目の 選択率	項目の 数等	選定理由の大項目	集計	岡山市指標 (案)	費否等
事業者の意識向上	15	実習生の受け入れ	40%	賛成	未来のスタッフ養成は評価すべき	4件	○受け入れ延べ人数／ 定員 ○受け入れ日数	【賛成】 ・状態像の改善に繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 なし
				賛成	受け入れることで、事業所の意識、スキルの上向上につながる	2件		
				賛成	地域貢献の一環として促進すべき	1件		
				賛成	サービスの安定供給につながる	1件		
				意見	資格の取得状況が学校によってこととなるので、評価項目にするのは難しいのではないかと	1件		
	16	利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気、快適性への配慮	50%	賛成	利用者の状態の維持・改善につながる	4件	○食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値 (指定基準は3平方メートル×利用定員)	【賛成】 ・状態像の改善に繋がる ・適切 ・利用者の状態に応じたサービスに繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 なし
				賛成	評価項目として適切	3件		
				賛成	利用者が心地よく過ごせる環境は重要	4件		
				賛成	記載なし	1件		
	17	状態像の維持改善を図るための機器等の充実	40%	賛成	利用者の状態の維持・改善につながる	4件	○機能訓練用の機器類及びレクリエーション用の機器の種類 ○定員数に対する機器の配置数	【賛成】 なし 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 【新指標案】 ・アセスメントの充実具合 ・メニュー、プログラムの実施頻度、回数、量、時間 ・複数のメニュー、プログラムの有無
				賛成	自立支援のための設備の充実が重要	1件		
				賛成	記載なし	2件		
				賛成	指標として適切	2件		
18	広報紙の定期的な発行	40%	賛成	事業所の取り組みを周知でき、意見が入ってくることで事業所のレベル向上につながる	2件	○年間の発行数	【賛成】 ・適切 ・指標が明確または簡易 ・利用者の状態に応じたサービスに繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 なし	
			賛成	広報紙の発行回数、回数増加の促進が図られる	1件			
			賛成	事業所自身の自己研鑽に寄与する	1件			
			賛成	利用者の増加が図られる	1件			
			賛成	利用者の選択の幅が広がる	1件			
賛成	記載なし	1件						

ディスプレイ改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.10作成

大項目	番号	評価項目	項目 選択率	項目の 賛否等	選定理由の大項目	集計	岡山市指標 (案)	賛否等
事業者の意識向上	19	事業所情報開示 に向けた取組	40%	賛成	利用者の選択の幅が広がる	2件	○県が管理する事業所 検索HPにおける任意 事項の記載数	【賛成】 ・適切 【意見】 なし 【顕微鏡】 ・HPの更新回数
				賛成	事業者の責任意識の向上につながる	1件		
				賛成	記載なし	1件		
	20	医療機関との連 携(急変時、精 神科(認知 症)、歯科医)	20%	賛成	利用者の安心につながる	3件	○緊急搬送先を把握し ている利用者の人数	【賛成】 なし 【意見】 なし 【顕微鏡】 ・意見書や検査結果の提供を受けているか ・情報共有した記録物
				賛成	D Sにとって医療機関との連携は必須	1件		
				賛成	記載なし	2件		

デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.10作成

大項目	番号	評価項目	項目 選択率	項目の 賛否等	選定理由の大項目	集計	岡山市指標 (案)	賛否等
地域住民の意識向上	21	地域社会との交流（地域行事の参加等）	20%	賛成	地域との交流・連携は重要	2件	○地域住民が参加可能な施設内行事の実施回数（/年）	【賛成】 ・適切 【意見】 なし 【新格標準】 なし
				賛成	地域で支えることが重要	1件		
				賛成	利用者の社会交流の場を増やすことにつながる	1件		
				反対	地域住民の意識向上は不要	1件		
	22	地域住民の介護体験やボランティアの積極的な受け入れ	40%	賛成	地域住民の介護に対する理解を深めることにつながる	2件	○延べ人数/定員	【賛成】 ・適切 ・指標が明確または簡易 【意見】 なし 【新格標準】 なし
				賛成	利用者のリフレッシュにつながる	1件		
				反対	地域住民の意識向上は不要	1件		
				賛成	家族がDSでの利用者の状況を把握することで介護への理解が深まる	2件		
	23	家族会、介護教室の開催	40%	賛成	地域住民の意識改革につながる	2件	○開催日数	【賛成】 ・適切 ・指標が明確または簡易 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新格標準】 なし
				賛成	現在取り組みを行っていない事業所の開催促進につながる	1件		
				賛成	利用者の自宅での様子が把握できる	1件		
				賛成	利用者及び家族が安心してサービスを受けることができる	2件		
24	利用者、家族等との適切なコミュニケーション	40%	賛成	情報共有は重要	4件	○利用者懇談会の開催回数（/年） ○家族への意思決定支援件数	【賛成】 ・適切 【意見】 なし 【新格標準】 ・広報紙の発行回数 ・相談件数 ・連絡帳の利用	
			賛成	記載なし	1件			
			反対	地域住民の意識向上は不要	1件			
			反対	記載なし	1件			

# 資料3

## 質の評価準備会資料 (全4回)

## 第1回 質の評価準備会 議事概要

日 時：平成26年1月7日（火） 17：00～18：20

場 所：アルフィック十日市

○出席者：デイサービス

- ・ 社会福祉法人 愛光苑 デイサービスセンター
- ・ 株式会社 アールケア（アルフィック十日市）
- ・ 医療法人 佐藤医院デイサービス
- ・ 公益財団法人 岡山市ふれあい公社 在宅福祉課

○岡山大学 浜田氏

○岡山市

### 1. 趣旨説明

#### 【主な意見】

- 全体的に市が示した評価項目は機能訓練型のデイを評価する項目が多い。レスパイト型を評価する項目が少ない。
- 評価項目を見ることだけで、事業者が啓発されることが望ましい
- 事業所ごとに得意としているサービスがあるので、指標が選択できるようにしてはどうか
- 事業の目的のインセンティブの付与の事業所要件について、状態像の改善に努力する事業所ではなくて、例えば、在宅生活の質を高める事業所にしたほうが、事業所のコンセンサスにつながるのではないか。

### 2. 当日資料

別添のとおり

# 総合特区介護サービス質の評価モデル事業スケジュール

12月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 議決	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
			1	2	3	4
5	6	7	8	9 準備会	10	11
12	13	14	15	16 準備会	17	18
19	20	21	22	23 準備会	24	25
26	27	28	29	30 事業所説明会(280) 2日~3日	31 第1回WT開催	

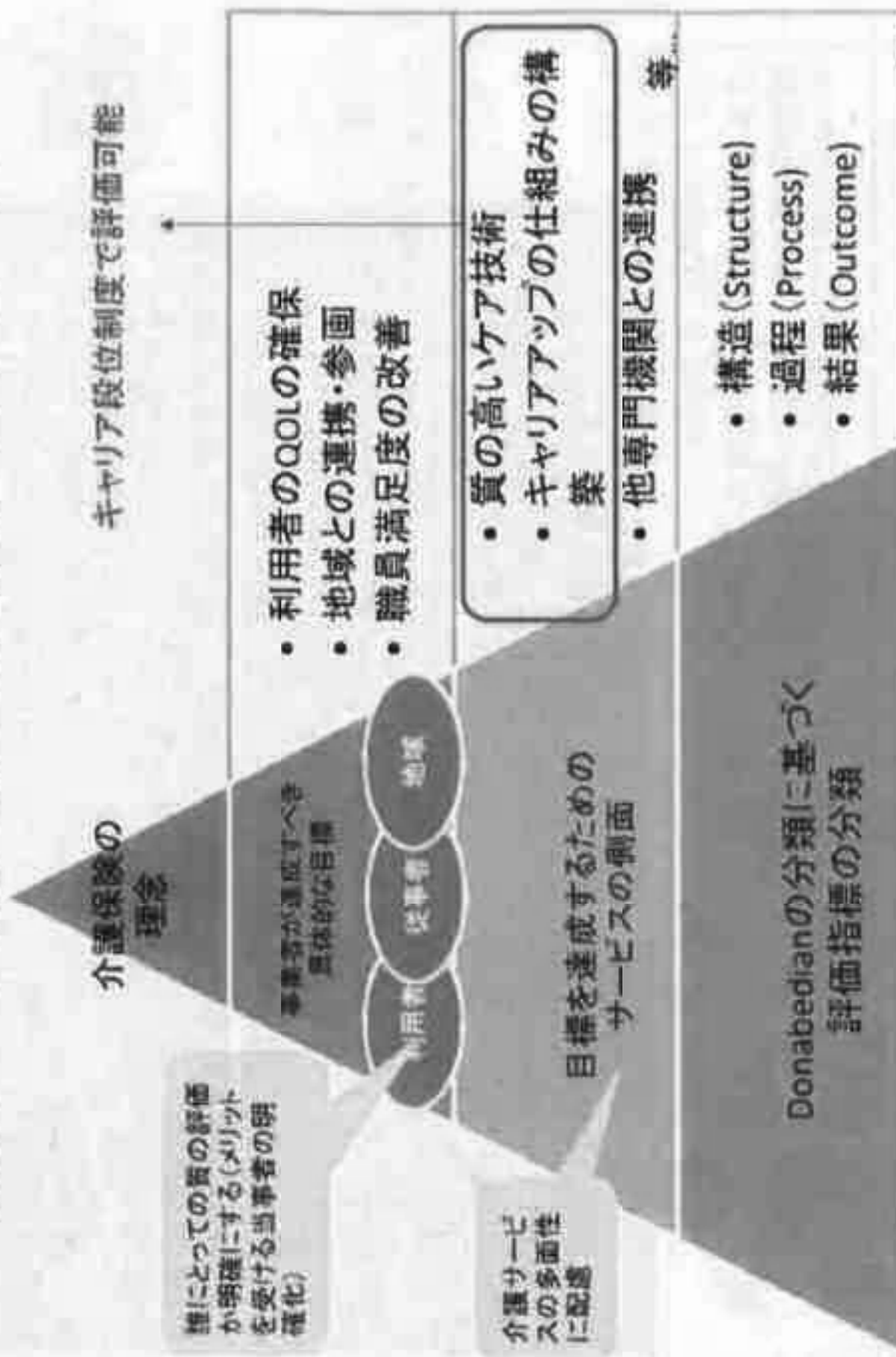
2月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4	5	6	7 第2回事業所説明会	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24 集計・分析	25	26	27	28	29
						第2回WT開催

3月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

# 介護サービスの質の評価の階層図(基本的なイメージ)

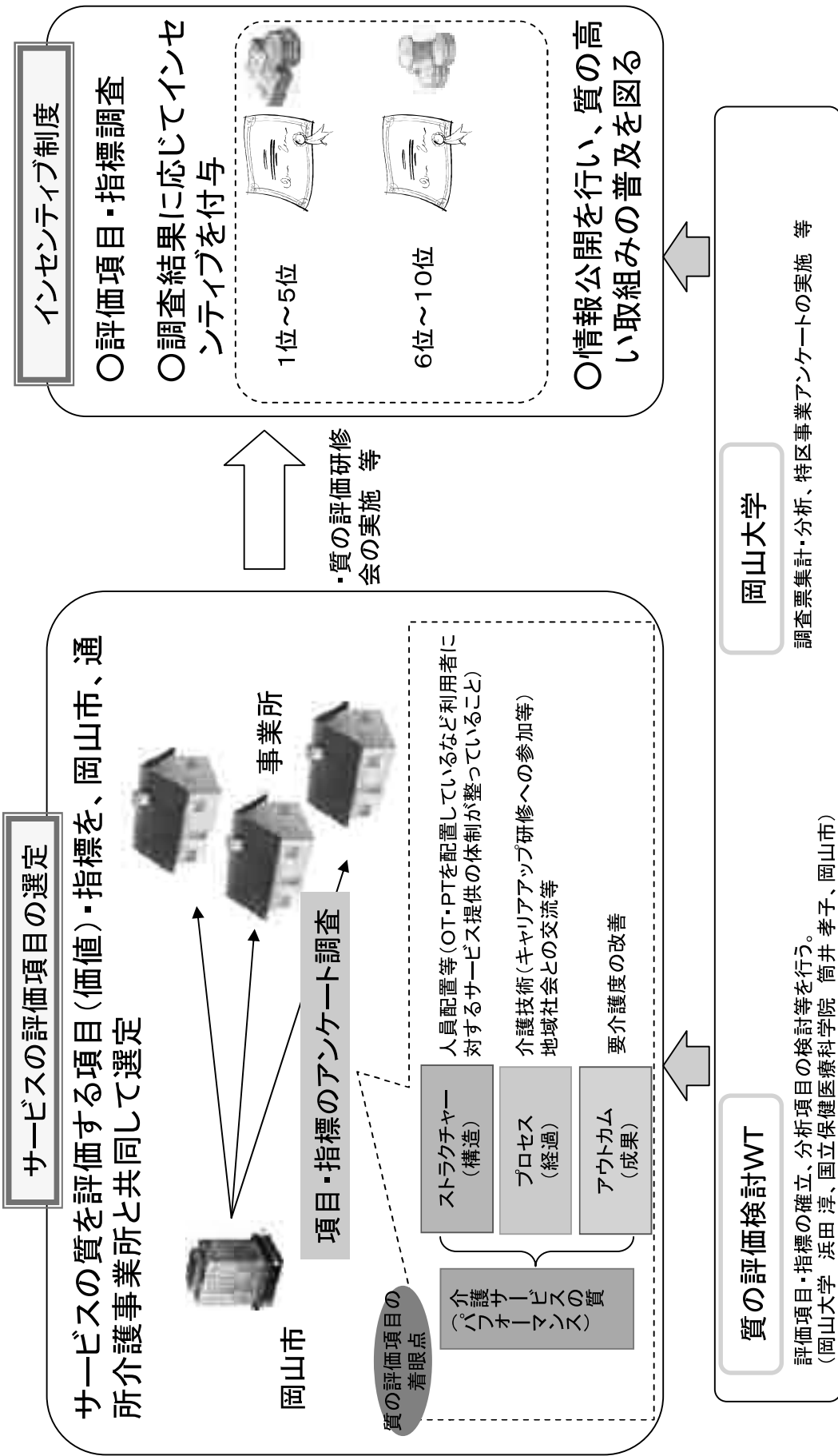


参考：平成21年度老人保健健康増進等事業「介護サービスの質の評価の在り方に係る検討に向けた事業」報告書P14

# デイサービス改善インセンティブ事業 (総合特区介護サービス質の評価モデル事業費)

## 概要

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、積極的に利用者の状態像を改善する努力をしている事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図る。





## 第2回 質の評価準備会 議事概要

日時：平成26年1月17日（金）18：00～19：20

場所：アルフィック下中野

出席者：

- デイサービス
  - ・ 社会福祉法人 愛光苑 デイサービスセンター
  - ・ 株式会社 アールケア（アルフィック十日市）
  - ・ 医療法人 佐藤医院デイサービス
  - ・ 公益財団法人 岡山市ふれあい公社 在宅福祉課
  - ・ 株式会社 HHH デイサービスゆいま〜る十日市
  - ・ 社会福祉法人やすらぎ福祉会 泉寿の里 デイサービスセンター
- 岡山大学
  - ・ 岡山大学 浜田氏 山川氏
- 岡山市

### 1. 検討内容

- 評価項目・指標案について
  - ・ 当該事業の目的について階層図にして説明
  - ・ 理念としては「利用者のQOLの確保」し、事業所は、在宅生活の質の向上及び介助者の負担軽減を目標とし、目標を達成すべき取組みをパフォーマンスで評価する旨伝える。
  - ・ 市がまとめた評価項目、指標案について、参加事業所全てに、大項目ごとに「○」をつけてもらい、絞込みを行った。
- 事業説明会の運営について
  - ・ 20日付けで、事業所説明会の案内を全事業所へ発出する旨伝える。

### 2. 当日資料

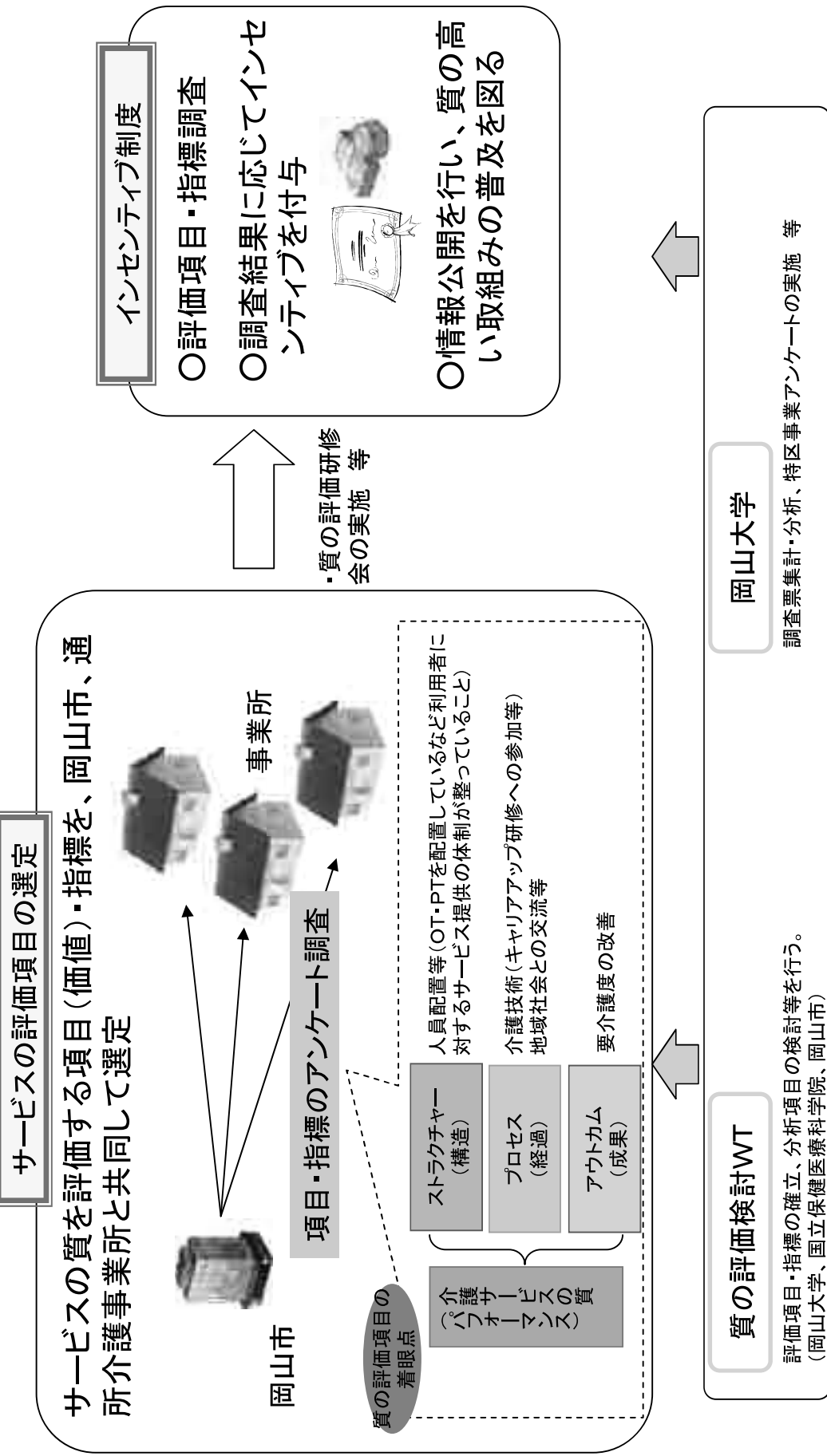
別添のとおり

# デイサービス改善インセンティブ事業 (総合特区介護サービス質の評価モデル事業費)

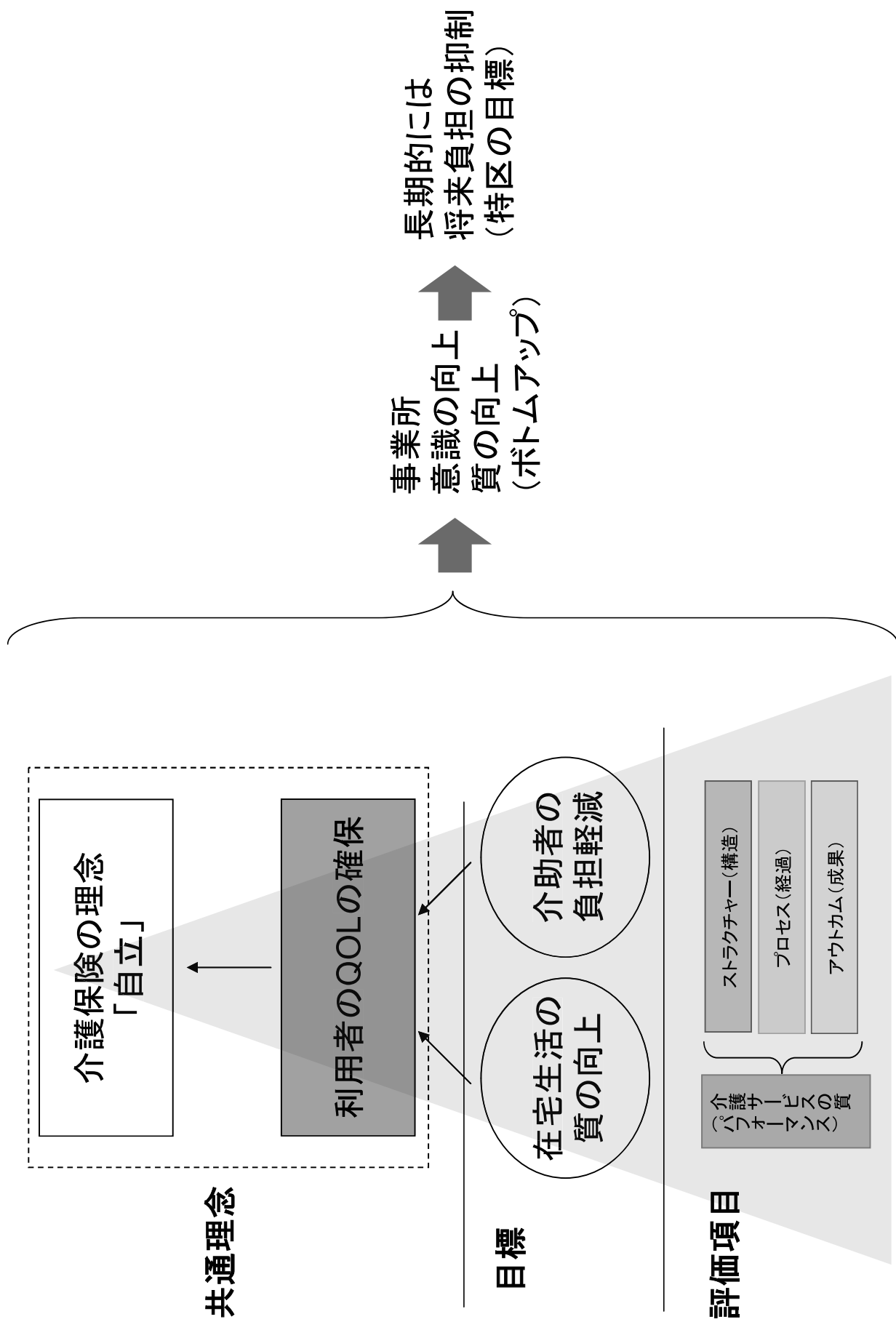
平成26年1月17日  
岡山市

## 概要

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、利用者のQOLの向上のため積極的に努力している事業所についてインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図る。



# 通所介護サービスの質の評価階層図イメージ



## デイサービスの評価項目(案)

○前回からの変更点・・・頂いた意見の中で、実施しなければならない項目や設置すべき項目は削除

○大項目(5分類)のうち、評価項目を5つ程度に絞る

○選定基準は、数値化できる指標があることが条件。「有無」のだけでは不十分、客観的に数値化でき、全事業所が算出が可能な指標

※指標(数値化できるデータ)について、「人数」等は事業所規模での調整が必要と考えています。

大項目	中項目	評価すべき項目	指標(数値化できるデータ)	岡山市(対応案)	愛光苑	アールケア	佐藤医院	ふれあい	千寿の里	ゆいま〜る
①人材の確保・養成	専門職の配置	2 職員のうち、国家資格取得者の配置人数(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)	利用人数に対する国家資格取得者の配置人数	加算の対象の職種については報酬で評価されている。それにも関わらず報酬で評価されない部分まで人員を配置している事業所を評価する。						
	専門職の配置	3 その他専門職(健康運動指導士など)の配置人数	利用人数に対する健康運動指導士などの配置人数、常勤配置人数	国家資格取得者以外の資格を想定。しかしながら、一定のラインは必要。(数ヶ月で取得できる資格と3日取得できる資格を併列していいのか)音楽療法士、認知症ケア専門士などの民間資格						
	専門職の配置	4 機能訓練指導員について、幅広いニーズの機能訓練に対応しているか。	国家資格取得者の配置人数	人員基準:1以上(他の職種にも従事可)						
	専門職の配置	5 生活相談員及び介護職員のキャリア	国家資格取得者を配置している人数(社会福祉士又は介護福祉士に限定)							
	職員の勤続年数	6 介護福祉士以外の職員の勤続年数	介護福祉士以外の職員の勤続年数	介護福祉士以外の職員の平均を算出(常勤、非常勤はどう扱うか。)						
	キャリアアップの仕組み	7 資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	資格取得者数、資格の種類数、資格取得に係る助成額、資格手当の有無(金額)	資格にはピンキリがあるので、各事業所が、求める資格に対する資格取得に係る助成額にすれば、不公平がないのではないか						
	キャリアアップの仕組み	8 専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	外部研修参加者延べ人数	研究発表の回数を指標にしてはどうか						
	キャリアアップの仕組み	9 キャリア段位制度への参加	段位取得者数							
	人材の確保	10 ボランティアの積極的な受け入れ	受け入れ人数・時間数							
	人材の確保	11 実習生の受け入れ	受け入れ人数・時間数							
	職員のやりがい	12 職員満足度調査の実施	満足度調査の実施の有無	評価したい点ではあるが、定量的な指標ではないか。						
	人材の確保・養成計画	13 人事管理の体制が整備されている。(必要な人材に関する具体的なプランが確立している、人事課が客観的な基準に基づいて行われているか)	人材育成採用プランを定めており、そのプランの実現率	定量的評価が困難か、事業所ごとにマニュアルの濃淡あり						
	人事・労務管理	14 ワークライフバランスへの取り組み	職員の有給休暇取得率、日数、労働時間管理簿、休日時間外勤務時間数	就業規則は事業所ごとに違うので、評価するには困難か。(満足度調査があれば事足りるか)						
	管理者の責任とリーダーシップ	15 管理者の責任が明確にされている。		13番と同様のジレンマになるが、有無で調査すると、どこも事業所も「有」で返してくるのではないか						
管理者の責任とリーダーシップ	20 管理者のリーダーシップが発揮されている。									
②施設、組織	施設	24 利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気、快適性への配慮	食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値(指定基準は3平方メートル×利用定員)							
	施設	25 職員が安心して働ける環境の整備	託児所の有無、職員の休憩室の有無	定量的な指標としては相応しくないか。						
	設備、備品	26 設備、備品(各種計測機等)が充実しているか	機能訓練用の運動機器の種類、定員数に対する運動機器の配置数	算出する機器の定義は必要。(金額?)						
	苦情対応	30 利用者が苦情を言いやすい体制の整備	目安箱の設置、	定量的な指標としては相応しくないか。						
	安全・衛生管理	41 事故発生時の対応(ヒヤリハット)	事故の発生件数、ヒヤリハットの件数							
③介護技術	介護計画	44 サービス担当者会議への出席	サービス担当者会議の出席率 運所介護計画策定前へのアセスメントの実施率							
	介護計画	45 ケアプランに沿った計画作成		定量的な指標としては相応しくないか。						
	介護計画	46 ケース会議、事例検討等の定期的な開催	開催件数、参加職員人数							
	介護計画	47 困難事例の扱い件数(介護報酬で評価されていない事例等)	困難事例の扱い件数(介護報酬で評価されていない事例等)	何が困難事例になるのか、不明瞭か						
	身体拘束	48 ベッド、車椅子利用時の身体拘束の状況	拘束件数/定員							
	質の高い介護技術の提供	49 移動、食事、入浴、排泄、整容、相談・援助、コミュニケーション、機能訓練、活動プログラム、口腔ケア、服薬管理、アクティビティケア、レクリエーションプログラム	行っているサービスの種類	加算項目:個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上、送迎、若年性認知症、中山間地域等						
	質の高い介護技術の提供	50 個別のサービス	参加人数、実施回数							
	質の高い介護技術の提供	51 個別機能訓練の量	実施人数/定員							
	52 状態像に合わせたケア		定量的な指標としては相応しくないか。							

質の高い介護技術の提供	53	在宅の状況に応じたサービスの提供		利用者の在宅生活の質の向上を図るための指標。指標化は困難か。																
	54	自立に向けた取り組みの状況(アセスメント)		7に含まれるか																
	55	アセスメント能力向上に対する取組	年間のアセスメント研修実施回数	アセスメント研修の洗い出しが必要																
	56	介護予防における生活機能向上グループ加算を算定し、実施している	生活機能向上プログラム実施者/定員	運動器機能向上加算・栄養改善加算・口腔機能向上加算をとっているがために、当該加算を申請していないが、当該加算の要件を満たす取組を行っているところを評価してほしいか。																
	57	専門的な認知症ケアの提供	認知症実践研修への参加数 認知症の種類を把握してプランに反映しているか																	
	58	自己評価の実施	内部評価実施人数(キャリア段階における申請者数)																	
	59	個人情報外部流出防止対策																		
	60	送迎時における適切な対応	福祉車両の管理状況、運転講習																	
	61	第三者評価機関による評価の実施																		
	62	同業者による相互評価の実施																		
	63	地域の同業所のケア技術の共有																		
	64	地域の同業所との比較・検討の実施																		
	65	人権・プライバシーの保護のための配慮	相談室(個室)の有無																	
	66	介護保険外サービスの利用者負担(食事等)	食事の金額																	
	4情報公開	78	広報紙の定期的な発行	発行回数・頻度・部数	事業所の大小で差がでるのは致し方ないか。															
		79	ホームページ	更新回数、アクセス数	誰が確認するのか、が問題															
80		事業所情報(自組織、提供サービス、財務諸表、第三者評価等)開示に向けた取組	開示情報数	項目決めが必要																
81		提供時における利用者及び家族等への説明	ネットワークシステムにより情報共有の有無?	定量的な指標としては相応しくないか。																
82		他の施設等からの講演依頼	講演依頼回数																	
83		他の施設等からの視察の受け入れ	受け入れ人数・施設数																	
84		利用者、家族等との適切なコミュニケーション	家族への意思決定支援件数、意見交換会の開催数、連絡帳の有無																	
85		利用満足度調査の実施	調査の有無	定量的な指標としては相応しくないか。																
5地域との連携	86	地域社会との交流(地域行事の参加等)	参加数、地域住民に解放した主催行事の開催数																	
	87	家族会、介護教室の開催	開催日数																	
	88	医療機関との連携(急変時、精神科(認知症)、歯科医)	顔が見える関係となっている医療機関数	緊急搬送先を把握している利用者の人数はどうか																
	89	居宅介護支援事業所との連携		指標化が困難か																
	90	多職種連携会議への出席	市が開催する連携会議への参加	参加数、参加人数																
	91	地域包括ケアに対する取組	地域ケア会議への参加数																	
	6理念・基本方針、評価	92	事業所の理念と基本方針	事業所の理念と基本方針の明文化及び職員、利用者への周知																
93		経営状況の把握	経営環境の変化等に適切に対応している。	数値目標の達成度																

平成26年1月20日

市内通所介護事業所 各位

岡山市保健福祉局  
新病院・保健福祉政策推進課

### 総合特区デイサービス改善インセンティブ事業説明会の開催について

平素より岡山市の総合特区事業にご協力頂き、誠にありがとうございます。

本市では通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、積極的に利用者の在宅生活の質を高める努力をしている事業所についてインセンティブを与える事業を検討しています。

については具体的な検討内容の説明及び、通所介護サービスの評価方法についての意見交換を行いますので、ご多忙とは思いますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、説明会は同じ説明内容で2日間開催いたしますので、ご都合のつく日程でのご出席をお願い致します。出席者は会場の都合のため各事業所2名までとさせていただきます。

○日時 平成26年2月4日(火)、2月7日(金)

※ 出席を希望する日(2月4日(火)、2月7日(金)のどちらか)を別紙に記入してください。

※ 会場の都合のため、希望する日時での出席ができない場合もありますので、予めご了承ください。

その場合、個別に御連絡いたします。

○場所 岡山プラザホテル

岡山県岡山市中区浜2丁目3-12

○当日のスケジュール(予定)

18:00～ 受付

18:30～19:00 事業説明

19:00～20:30 意見交換

○出席申込み方法

申込みについては、別添の申込みフォームに必要事項を記入の上、1月28日(火)までに下記申込み先にファックスあるいは、メールにて提出をお願い致します。

#### 【申込み先】

岡山市 新病院・保健福祉政策推進課

医療福祉戦略室 黒瀬、守安

TEL 086-803-1638

FAX 086-803-1776

MAIL masakazu\_moriyasu@city.okayama.jp

F A X : 0 8 6 - 8 0 3 - 1 7 7 6

**岡山市 新病院・保健福祉政策推進課 行き**

メール: masakazu\_moriyasu@city.okayama.jp

**総合特区デイサービス改善インセンティブ事業説明会**

**出席申込書**

<b>事業所名</b>		
<b>氏 名</b>	(職名等) (名 前)	2月4日(火)
<b>氏 名</b>	(職名等) (名 前)	2月7日(金)
<b>ご連絡先</b>	[電話] [メール]	

※ 出席を希望する日(2月4日(火)、2月7日(金)のどちらか)を「○」で囲んでください。

(両日とも説明内容は同じです。)

※ 事業所ごとに申込みをお願い致します。

**申込み締切: 1月28日(火)**

### 第3回 質の評価準備会 議事概要

日時：平成26年1月24日（金）18：00～19：30

場所：アルフィック下中野

- 出席者：デイサービス
  - ・ 社会福祉法人 愛光苑 デイサービスセンター
  - ・ 株式会社 アールケア（アルフィック十日市）
  - ・ 医療法人 佐藤医院デイサービス
  - ・ 公益財団法人 岡山市ふれあい公社 在宅福祉課
  - ・ 株式会社 HHH デイサービスゆいま〜る十日市
- 岡山大学
  - ・ 岡山大学 山川氏
- 岡山市

#### 1. 検討内容

- 評価項目・指標案について
  - ・ 前回の準備会の意見を踏まえ、再整理した評価項目・指標について、再度の意見調整
  - ・ 客観的にデジタル化できない項目、有無の2択でしか把握できない項目、設備、人員基準上必ずしなければならない項目、事業所とそもそも取り組まないといけない項目は排除した。
- 事業説明会の運営について
  - 意見なし
- 今後のスケジュールについて
  - 次回の開催は2月13日（木）とした

#### 2. 当日資料

別添のとおり



## 事業説明会の運営について

日時：平成26年2月4日（火）、7日（金）

場所：岡山プラザホテル

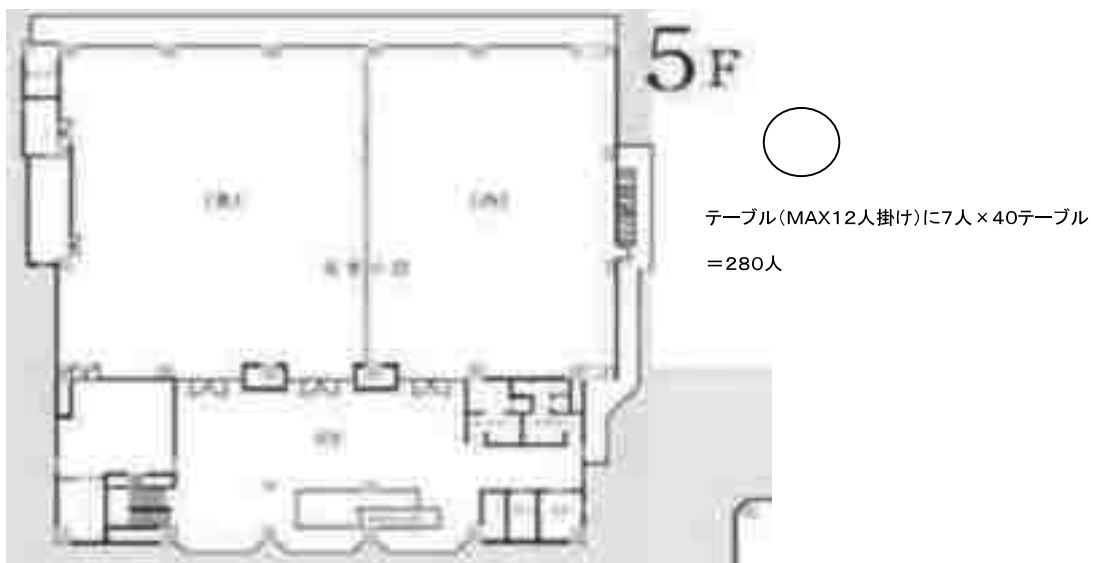
### 説明会の狙い

- デイサービス改善インセンティブ事業の検討内容を理解してもらう。
- ワールドカフェ形式で2セッション行い、各テーブルごとに、利用者のQOLを積極的に確保に努める上で必要な評価項目を議論し、上位5つ程度選んでもらう。  
※テーブルには準備会で揉んだ評価項目・指標リストを提示し、原則はリストから選定してもらう。ただし、新たな評価項目の追加を否定するものでない。
- 後日、この説明会で各事業所が議論した評価項目の中で、多数決で項目を決定する。  
※最終的なオーソライズは、2月中旬に開催する第2回事業説明会で決定

### 当日スケジュール

- 18:00～ 受付
- 18:30 説明会開始
- 18:30～18:50 事業説明
- 18:50～19:00 質疑応答
- 19:00～19:05 ガイダンス
- 19:05～19:35 第1セッション
- 19:40～20:10 第2セッション
- 20:10～20:20 発表（4、5事例）

終了



デイサービスの評価項目(案)

○選定基準は、数値化できる指標があることが条件。「有無」のだけでは不十分、客観的に数値化でき、全事業所が算出が可能な指標  
 ※指標(数値化できるデータ)について、「人数」等は事業所規模での調整が必要と考えています。  
 ○全ての事業所がこの評価項目で評価されるのではなく、より利用者のQOLの向上に努めている事業所の取組を評価=より高いハードルを設置

大項目	中項目	評価すべき項目	指標(数値化できるデータ)	岡山市(調整案)	指標案					指標案										
					変光死	アルケア	佐藤医院	ふれあい	泉寿の里	ゆいまへ	アルケア	ふれあい	泉寿の里							
1 専門職の配置	2	職員のうち、国家資格取得者の配置人数(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)	利用人数に対する国家資格取得者の配置人数	○評価対象の国家資格は国家資格…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師(限定) ○職種を指標化してはどうか ・看護師と理学療法士以外の国家資格取得者の取得数 ・看護師、理学療法士がいるのは両方 ・職種の種類数	△	○	○	○									常勤換算の人数、基準人員を上回り配置することで、利用者のQOLを向上させることが結果として認められる場合、そこに加算のつけるべきではないか。	OT、PT、言語聴覚士でありながらその専門性の職種についていない場合とどうするのか？職別訓練指導員として専任のみカウントすべきではないか。		
			国家資格取得者以外の資格を想定し、しきりながら、一定のラインは必要。(数字で取得できる資格と3日で取得できる資格を別列にしてはないか)音楽療法士、認知症ケア専門士などの民間資格																	
	3	その他専門職(健康運動指導士など)の配置人数	利用人数に対する健康運動指導士などの配置人数、常勤配置人数	国家資格取得者以外の資格を想定し、しきりながら、一定のラインは必要。(数字で取得できる資格と3日で取得できる資格を別列にしてはないか)音楽療法士、認知症ケア専門士などの民間資格		○														
			人員基準:1以上(他の職務にも従事可)																	
	4	機能訓練指導員について、幅広いコースの機能訓練に対応しているか。	国家資格取得者の配置人数	人員基準:1以上(他の職務にも従事可)		○		○												
			生活相談員及び介護職員のキャリア	国家資格取得者を配置している人数(社会福祉士又は介護福祉士に限定)	生活相談員と介護職員とに分界		○													
	5	生活相談員及び介護職員のキャリア	生活相談員及び介護職員のキャリア	生活相談員と介護職員とに分界																
				社会福祉士を配置している人数	介護福祉士を配置している人数															
	5-①	生活相談員のキャリア	生活相談員のキャリア	社会福祉士を配置している人数																
				介護福祉士を配置している人数																
	6	介護福祉士以外の職員の経験年数	介護福祉士以外の職員の経験年数	一般の加算で評価されているので、削除			○	○			○									
				現在のサービス提供強化加算Ⅱとふり。																
	7	資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	資格取得者数、資格の種類数、資格取得に係る助成額、資格手当の有無(金額)	資格にはピンキリがあるので、各事業所が、求める資格に対する資格取得に係る助成額)は不平等かでないか				○			○									
				外館研修参加者延べ人数と研究発表の回数(発表者)を算出して定めてはどうか。																
8	専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	外部研修参加者延べ人数	研究発表の回数 ・研修参加回数			△			○	○										
			研修参加回数																	
9	キャリアアップ制度への参加	研修取得者数	58-①へ			△														
			93-①へ																	
10	ボランティアの積極的な受け入れ	受け入れ人数・時間数	93-①へ			○	△		○	○										
			94-②へ			○	△		○	○										
11	実習生の受け入れ	受け入れ人数・時間数	94-②へ			○	△		○	○										
			その通り																	
12	職員の満足度調査の実施	満足度調査の実施の有無	満足度調査、職員教育、報奨金総行プログラムのうち実施率																	
			就業規則は事業所ごとに違うので、評価するには困難か。(満足度調査があれば事足りるか)																	
18	ワークライフバランスへの取り組み	職員の年給休取率、日数、労働時間管理、休日時間外勤務時間数	就業規則は事業所ごとに違うので、評価するには困難か。(満足度調査があれば事足りるか)					○												
			就業規則は事業所ごとに違うので、評価するには困難か。(満足度調査があれば事足りるか)																	
2 施設、組織	24	利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気	食費及び機能訓練室について、付帯した面積と利用定員の割合(指定基準は3平方メートル×利用定員)																	
			託児所の有無、職員の休憩室の有無																	
	25	職員が安心して働ける環境の整備	職員の有給取得率	職歴に応じて決まっている有給の取得率(労基法上の取得率基準)																
				機能訓練用運動機器の種類、定員数に対する運動機器の配置数																
	25-①	職員が安心して働ける環境の整備	職員の有給取得率	職歴に応じて決まっている有給の取得率(労基法上の取得率基準)																
				運動機器に限らず種類の選別に一人あたりの定員を考慮すべきか。																
	26	設備、備品(各種計測機等)が充実しているか	機能訓練用運動機器の種類、定員数に対する運動機器の配置数	運動機器に限らず種類の選別に一人あたりの定員を考慮すべきか。																
				機能訓練用運動機器の種類、定員数に対する運動機器の配置数																
	34	利用者が苦情を言いやすい体制の整備	目安箱の設置、	定量的な指標としては相応しくないか。																
				事故発生時の対応(ヒヤリハット)																
	41	安全・衛生管理	事故発生時の対応(ヒヤリハット)	事故の発生件数、ヒヤリハットの件数																
				職歴に応じて決まっている有給の取得率(労基法上の取得率基準)																
	44	サービス担当者会議への出席	サービス担当者会議の出席率	サービス担当者会議の出席率																
				サービス担当者会議の出席率																
46	ケース会議、事例検討等の定期的な開催	開催件数、参加職員人数	ケース会議の定義があいまい、かつ事業者の言いっぱなしとなる(把握が実質不可能)ため、指標としては困難か																	
			何が困難事例になるのか、不明確か																	
47	困難事例の扱い件数(介護報酬で評価されていない事例等)	困難事例の扱い件数(介護報酬で評価されていない事例等)	何が困難事例になるのか、不明確か																	
			運動機器に限らず種類の選別に一人あたりの定員を考慮すべきか。																	
49	個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上の提供	個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上の提供	加算項目(個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上)																	
			加算の対象となるサービス以外で行っているサービスの種類																	
49-①	個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上の提供	個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上の提供	加算で評価されているが、それに上乗せして、さらに評価できないか																	
			加算の対象となっていないが、利用者のQOLの向上のために加算の対象となるサービス以外で行っているサービスの種類																	
49-②	栄養管理、レクリエーションプログラムなどの加算対象サービス以外の提供	個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上の提供	加算の対象となっていないが、利用者のQOLの向上のために加算の対象となるサービス以外で行っているサービスの種類																	
			加算の対象となっていないが、利用者のQOLの向上のために加算の対象となるサービス以外で行っているサービスの種類																	
50	個別のサービス	個別のサービス	参加人数、実施回数																	
			個別のサービス																	
53	在宅の状況に応じたサービスの提供	在宅の状況に応じたサービスの提供	ADL、IADL																	
			ADL、IADL																	
54	自立に向けた取り組みの状況(アセスメント)	自立に向けた取り組みの状況(アセスメント)	ADL、IADL																	
			ADL、IADL																	
56	介護予防における生活機能向上プログラム加算を算定し、実施している	介護予防における生活機能向上プログラム加算を算定し、実施している	運動器機能向上加算・栄養改善加算・口腔機能向上加算を算定しているが、当該加算の要件を満たす取組を行っているところを評価してはどうか。																	
			運動器機能向上加算・栄養改善加算・口腔機能向上加算を算定しているが、当該加算の要件を満たす取組を行っているところを評価してはどうか。																	

認知症対策	57	専門的な認知症ケアの提供	認知症支援研修への参加数 認知症の種類を把握してプランに反映しているか	・ダスクによる誘発件数 ・ダスクによる受診干渉件数	○	○	○	○	○	MMSSE、HDSRなどの評価 スケールを導入し、結果を指 標とするべきではないか。	認知症対策へのプログラ ムの内容、実施後の認知症 率に対する評価等の実施。 マニュアルが備わっており が同レベルのサービス提供 ができる。資材のみではなく 内容に視点を。	異議なし。認知症支援リー ダー研修等も加えても よい。					
技術評価	58	自己評価の実施	内勤評価実施人数(キャリア段位における申 請者数)		○	○											
キャリアアッ プの仕組み	9	キャリア段位制度への参加	キャリア段位研修会参加人数	9から					△								
	61	送迎時における適切な対応	福祉車両の管理状況、運転講習								○						
技術評価	67	第三者評価機関による評価の実施									○						
技術評価	69	地域の同業所のケア技術の共有									○						
		状態像の改善	要介護度、IADLの改善度														
		民間保険による自己負担補完保険の加入	加入者数、保障額														
④情報公開	開かれた情 報	79	広報誌の定期的な発行	発行回数・部数	事業所の大小で差があるのは致し 方ないか。	○	○	○	○	○	○	○	よろしいではないでしょうか。	異議なし。			
	開かれた情 報	80	ホームページ	更新回数、アクセス数	誰が確認するのか、が問題	○	○	○			○		更新の定義が不明。管理を どうするのか。	更新回数やアクセス数など 外部で簡単にコントロールで きることを見積にすることは 問題ではないか。			
	開かれた情 報	81	事業所情報(自組織、提供サービス、財務諸表、第三者 評価等)開示に向けた取組	開示情報数	項目決まりが必要	○	○				○		HPと同じではないでしょ うか。	自組織、提供サービス、財 務諸表、第三者評価等に利 用料金を加えたものがある かどうか。			
	開かれた情 報	83	他の施設等からの講演依頼	講演依頼回数						△							
	開かれた事 業所 適切な情報 収集	84	他の施設等からの視察の受け入れ	受け入れ人数・施設数						○	○	○	その通り。記録は必須。	施設数だけでなく施設入の基 礎と設定すべき。			
	適切な情報 収集	85	利用者、家族等との適切なコミュニケーション	家族への意思決定支援件数、意見交換会の 開催数、連絡先の有無		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	その通り。記録は必須。 当然のことなので指標は困 難。	異議なし
	適切な情報 収集	86	利用満足度調査の実施	調査の有無	定量的な指標としては相応しくない か。						○	○	○	○	○	その通り。記録は必須。 利用者満足度調査の結果を 踏まえ改善内容などを利 用者、家族に伝えていく。	利用者、利用者家族へのア ンケートの取組。
	⑤地域との連 携	地域福祉	93	地域社会との交流(地域行事の参加等)	参加数、地域住民に開放した主催行事の開 催数	ボランティアの受け入れ人数、回数	○	○	○	○	○	○	○	その通り。記録は必須。	異議なし。		
		93-①	ボランティアの積極的な受け入れ	受け入れ人数・時間数	①10から移動	○	△				○	○	その通り	受け入れ団体の数、日数。			
		93-②	実習生の受け入れ	受け入れ人数・時間数	①11から移動	○	△				○	○	その通り	受け入れ団体の数、日数。			
地域福祉		94	家族会、介護教室の開催	開催日数		○	○	○			○	○	その通り。記録は必須。	異議なし。84と統合してもよ い。			
地域福祉		94-①	家族会、介護教室の開催	家族への意思決定支援件数													
医療機関と の連携		95	医療機関との連携(急変時、精神科(認知症)、歯科)	顔が見える関係となっている医療機関数	緊急搬送先を把握している利用者 の人数はどうか	○					○			顔が見える基準が不明確。 事業所との関係ではなく、利 用者との主治医関係を確認 すべきでは。	利用者の医療ニーズの応え ることのできる体制が必要 である。		
居宅介護支 援事業所と の連携		96	居宅介護支援事業所との連携		指標化が困難か						○						
多職種連携 会議への出 席		97	市が開催する連携会議への参加	参加数、参加人数							○						
地域包括ケ ア	98	地域包括ケアに対する取組	地域ケア会議への参加数							○	○	○	その通り。	国の施策なので積極的に取 り組んでいるが地域ケア会 議の出席。			

# 総合特区介護サービス質の評価モデル事業スケジュール

12月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 議決	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
			1	2	3	4
5	6	7 第1回準備会	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17 第2回準備会	18
19	20	21	22	23	24 第3回準備会	25
26	27	28	29	30	31	

2月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4 第1回 事業説明会	5	6	7 第1回 事業説明会	8
9	10	11	12	13 第4回準備会	14	15
16	17	18	19 第2回事業説明会 調査票発出	20 第2回事業説明会 調査票発出	21	22
23	24	25	26	27	28	29
						調査票

3月

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
						1
2	3	4 集計	5	6 分析・ベンチマーク作成 質の評価WT	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 報告書印刷入札 報告書印刷契約	19	20 第3回事業所説明会	21	22
23	24	25 報告書印刷	26	27	28 国報告	29
30	31					
						報告書納期